

村勢要覧 2024



みんなが輝<sup>き</sup>らめく

豊かな なかじまむら

ふくしまけん なかじまむら  
福島県 中島村



Guide to Nakajima Village 2024

## 目次

- P.3 ▶ めざす村の姿
- P.4 ▶ Chapter1  
心豊かな子どもを  
育み自己を磨き  
続けるむら
- P.6 ▶ Chapter2  
みんながいいき  
暮らせるむら
- P.8 ▶ Chapter3  
みんなで作り  
上げるむら
- P.10 ▶ Chapter4  
安全・安心して  
暮らせるむら
- P.12 ▶ Chapter5  
環境豊かで快適な  
住みよいむら
- P.14 ▶ Chapter6  
地域の活力を  
活かしたむら
- P.16 ▶ 中島村 MAP
- P.17 ▶ 中島村の施設
- P.18 ▶ 中島村の史跡
- P.19 ▶ 中島村の特産品

### 中島村ロゴマーク



「な」をモチーフに四つ葉の形に心を描いて大地に育つ野菜を表しています。また、赤円で村を照らす太陽と明るい村を表現しています。

## ごあいさつ

中島村長 加藤 幸一



中島村は福島県の南部に位置し、村の南部から東部にかけて阿武隈川が流れ、一部丘陵地を除けば平坦な地形で、春の緑、秋には黄金色に染まる美しい景観に囲まれた自然豊かな、総面積18.92km<sup>2</sup>の南

北に細長い村です。また、先人から世代を経て受け継がれてきた「人の優しさ」は、村民アンケートでも村の良いところとして最も挙げられた意見であり、村の大切な財産です。

本村の基幹産業は農業であり、整備された田園は効率的で生産性が高く、特にトマトやブロッコリーは県南地方の主要な産地であることから、農家所得は県内でも常に上位に位置しています。

近年では2011年の東日本大震災、2019年の東日本台風、2020年からの新型コロナウイルス感染症や国際紛争に伴う物価高騰など、今までに体験したことのない状況を経験しました。このような中、村民の生活を支えるべく、子育て支援として全国に先駆けて保育所・幼稚園保育料無料化や幼稚園や小・中学校の給食費無料化、児童館や学校給食センターの新設などを実施してまいりました。

現在、中島村第6次総合振興計画に基づき、村の将来像である「みんなが輝(き)らめく 豊かな なかじまむら」を目指し、村民全員が輝らめく人生を過ごせるよう、産業が豊かに発展するよう村づくりに取り組んでおりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

## ●● ～中島村の四季～ ●●



# めざす村の姿

## 将来像

## みんなが輝<sup>き</sup>らめく 豊かな なかじまむら

### ひと

#### 心豊かな子どもを育み自己を磨き続けるむら

子育てしやすい村を目指し、幼稚園から中学校までの給食費無料化の継続や特色ある教育活動の充実を図ります。さらに、一時預かり保育、児童クラブ等子育て世帯が働きやすい環境づくりに努めます。また、人生100年時代といわれる中で、自己を磨き続けるために果たす生涯学習の役割はますます重要となることが予想されます。文化財保護や生涯学習事業の充実を図り、生涯学べる環境を整備します。

#### みんながいきいき暮らせるむら

子どもから高齢者まで、全ての人にとって健康は最も重要なもののひとつです。村民が健康な生活を送ることができるよう、各種健診及び検診の受診勧奨、受診後の保健指導を実施します。さらに、高齢者や障がい者への支援の充実や見守りの強化を目指します。

#### みんなで作り上げるむら

村民みんなが輝くために、村民と行政の距離が近い村を目指します。そのために、行政区への支援を行い、地域に根差したコミュニティの継続を支援します。また、パブリックコメントや行政サービスのデジタル変革(DX)を実施することで、村民が行政に参加しやすい体制づくりを目指します。また、役場においても財政の健全化や男女共同参画に取り組み、よりよい行政サービスの提供に努めます。

### くらし

#### 安全・安心して暮らせるむら

過去に被害のあった地震や水害の経験をもとに、避難行動に支援が必要な方への支援の方法やより多くの村民に防災情報を届けることができるよう事業を検討します。さらに、日中の消防体制強化や防犯灯新設などの防犯・交通安全の充実、風評被害の払拭に引き続き取り組みます。また村民アンケートで要望の多かった医療体制の確保に努めます。

#### 環境豊かで快適な住みよいむら

生活に不可欠な道路や水道、農業集落排水処理施設などインフラの維持管理を適正に行い、村民の快適な生活を支えます。さらに、童里夢公園なかじまの維持管理や農村公園・地区公園の整備・活用、公営住宅の維持管理、空き家バンクや分譲地販売などにより移住者に選ばれる住みやすいむらを目指します。

### しごと

#### 地域の活力を活かしたむら

村の基幹産業である農業の新規就農者や後継者への支援を行い、農業の振興を図ります。また、企業訪問などを通じて企業誘致や既存企業との連携強化に努めます。さらに、商業への支援を行うことで、村内産業の振興を目指します。村に人を呼び込むために、既存の観光資源をさらにPRし、地域の活力を活かしたむらを目指します。

### 横断的な目標

持続可能な開発目標(SDGs)

デジタル変革(DX)

証拠に基づく政策立案(EBPM)

# 01 心豊かな子どもを育み自己を磨き続け

## 中学校マレーシア修学旅行

### ～多文化共生・国際交流の育み～

中島中学校では、修学旅行として2016年からマレーシアを訪れています。マレーシアはマレー語、中国語、タミル語、英語の4ヵ国語が飛び交う国で、多民族国家でもあります。日本では経験する機会が少ない外国語でのコミュニケーションや多数の文化に触れることで、生徒の人材育成を促しています。生徒は、初めは片言の英語で現地の同年代の人とコミュニケーションを図っていますが、最終日になると英語ではなく公用語のマレー語で挨拶するなど、自ら考える力を醸成しています。



修学旅行に参加した生徒からは、「同年代の人との外国語での交流は、これからの人生でもなかなか経験することができない貴重な体験でした。今後さらに国際社会化していくと思うので、今回の経験を思い出し、グローバル化に貢献したいと思います。」との声がありました。また、帰国後もSNSで現地の生徒と今も交流が続いている生徒もいるそうです。



## 児童館輝らキッズ



村ホームページ

児童館輝らキッズは0～18歳までの方ならどなたでも来館し使用できる施設です。

子ども達の総合施設「みんなが主役 笑顔あふれる 児童館」を目指し、児童館運営の3つの柱①なかじま放課後児童クラブの充実、②子育て支援・体験文化活動の充実、③学力支援の充実を掲げ、子育て支援を行っています。

## 学校給食センター 輝らキッチン

幼稚園・小・中学校の給食費が無料の中島村では、2021年に新たな学校給食センターが完成しました。施設内は食材ごとに処理する場所を分け、清潔を保てるようにしています。また、見学スペースや会議室を設け、児童・生徒が調理の様子を見学したりすることができます。会議室で食育やテーブルマナーの授業を行うことができます。



## その1

### 子育て支援

妊娠中から子育て期の育児に関する不安や悩みの傾聴・相談に応じ、安心して子育てすることができる環境の整備や細やかな相談支援を行っていきます。また、村独自の幼稚園から中学校までの給食費及び保育所と幼稚園の保育料等無料化といった子育て世帯の経済的支援を継続し、今後も子育てしやすい環境の整備を進めます。



9～10か月児健康相談・離乳食教室



英国文化体験施設での異文化体験活動

## その2

### 教育の充実・国際交流教育の推進

学力向上や一人ひとりに応じた支援を充実するための学習支援員の配置に努めるほか、安全・安心な学校施設整備に取り組みます。

また、英語によるコミュニケーション能力育成を図るため、ALT 1名を日替わりで幼稚園、小・中学校に配置し、さらにもう1人のALTを小学校5・6年生の英語科授業に配置するとともに、小学校6年生から中学校3年生まで異文化体験活動を天栄村の英国文化体験施設で実施しています。

## その3

### 自己を磨き続ける生涯学習活動の推進

人生100年時代を心豊かに暮らすため、学ぶ楽しさや生きがいの持てる生涯学習活動への参加を通じて、村民の心豊かに生きる力の育成を目指します。また、全ての人が生きがいを持ち、生涯にわたって自己を磨き質の高い学びを続け、身近な場所で学習や運動・文化活動に親しめるよう施設の整備に努めます。



クラウン大学

## その4

### 文化財保護と伝統文化の継承

村の文化財や伝統文化を次の世代に継承するため、歴史や文化を学ぶ機会を確保するとともに、文化財を適正に保護し活用していくことで地域の人と人とのつながり、歴史のつながりを育みます。



滑津小学校学習発表会での「奥州汗かき地蔵太鼓」



四穂田古墳出土品体験学習

# 02 みんながいきいき暮らせるむら



## 中島村健康づくり交流センター 輝らフィット

～運動と交流でQOL\*を高めよう～



村ホームページ

中島村健康づくり交流センター輝らフィットは、「トレーニングスペース」「スタジオ」「多目的スペース」を備えた施設です。持久力や筋力を鍛える多彩なトレーニングマシンとスタジオプログラムがあり、毎月延べ2,000名の利用者を誇ります。「10歳未満のお子さんからシニアの方まで、村内外の幅広い年齢層の方に利用していただいています。70代以上の会員も約150名います。運動の習慣があるためか、中島村には元気なシニアの方が多い印象です。皆さん健康に対する意識が高いですね。」とスタッフの皆さん。

運動によって村民の健康維持や体力増進を図ることに加え、輝らフィットには村民同士、また村民と近隣市町村住民の交流の場としての役割もあります。実際ここで知り合った利用者同士が一緒にトレーニングをしたり、同じスタジオプログラムに参加することもあります。それが運動を続けるモチベーションとなり、健康維持につながる好循環を生んでいます。

村民が今よりもっと健康になり年齢を重ねても元気に活動できるよう、村全体のQOL\*（クオリティ・オブ・ライフ=生活の質）を下支えする施設を目指しています。



その1

## 健康づくりの推進

村民が健康に関心を持ち、自ら健康行動がとれるよう、健康に関する知識の普及啓発に努め、各種健診・検診の受診率向上に努めます。また、保健指導を充実させるため、専門職の配置整備を検討します。



集団健診



ふれあいサロン

その2

## 豊かなシニアライフ

高齢者が心身ともに健康でいきいきと生きていけるような社会、生きがいを持って生きていける社会を形成するため、筋力スマイルクラブやステップアップ教室などにより介護予防を推進します。

また、高齢者の交流の場を整備するため引き続きふれあいサロンを実施するほか、さらに魅力的かつ常設できる事業を検討します。



福祉有償運送

その3

## 障がい者への支援

自立支援相談会などで障がい者が必要としている情報発信を行うほか、関係機関と連携し福祉サービスを利用しやすい環境を整備します。



有償ボランティア「中島よかっぺ助け隊」

その4

## 見守りの強化・支援

公的支援のみならず、地域全体で地域住民を支えあえる互助の取り組みを進めます。また、要支援者の権利が侵害されないよう、成年後見制度の利用など、必要な支援に結び付ける体制整備を進めます。

さらに、介護を行う家族介護者の孤立を防ぐため、支援体制を整備します。

## 03 みんなで作り上げるむら



## ふるさと中島・川原田を想う会

## ～地域の伝統行事を復活させ次世代に継承～

「ふるさと中島・川原田を想う会」は2012年、県の「地域づくり総合支援事業」の助成を受けて発足しました。「震災からの復興を願い、しばらく途絶えていた来迎寺境内での盆踊りを復活させようと有志が集まったことがきっかけです。盆踊りでは、会員が指導して練習を重ねてきた地区の小学生が和太鼓を演奏します。彼らは中学生、高校生、社会人になってからも参加して太鼓を叩いてくれるんですよ」とみなさん。2023年にはコロナ禍以降4年ぶりに盆踊りを開催し、多くの住民が来場して地域の絆を深めました。

同会ではほかにも、無病息災を願って行う「熊野講」

という小学生が千本杵で餅をつき、太鼓を叩いて集落を練り歩く行事や、集落の家をまわって農作物を荒らす害獣を追い払う儀式「むじな打(ぶ)ち」などを復活させてきました。その背景には子どもたちに地域の伝統文化を受け継いでもらおうと同時に、郷土愛を育てほしいという思いがあるといいます。さらに同会では花いっぱい運動や環境美化活動も行っています。

「川原田地区には川原田地域資源保全会、老人会、子ども会などさまざまな組織があり、みんなが協力して活動しているのが特長です。これからも地域のために長く活動していきたいですね」と抱負を語ります。





その1

## 地域コミュニティの活性化

地域の特性を生かしたコミュニティ活動を支援します。また、時代のニーズや社会情勢の変化に伴い、行政区の既存事業について高齢化や人手不足が課題となっていることから、意見交換等を通じて見直しや対策を検討し、行政区に加入しやすい環境づくりを地域一体で進めていきます。



行政区長会

中島村ホームページトップページ

その2

## 村民の行政参画

村民の意見を行政に反映させ村民と協働する村づくりを推進するため、村の基本的な施策・計画・条例などを策定するにあたり、パブリックコメントを積極的に活用します。

その3

## 行政サービスのDX

村民のニーズに沿った行政サービスの提供を行うため、また持続可能な行政サービスを提供するため、DX（デジタル変革）を進め、村民の行政手続きや職員の事務作業効率化を促します。



どなたでも利用できる  
庁内フリーWi-Fi



会議資料の投影やオンライン  
会議が行える大型モニター



様々な情報を常時放映する  
デジタルサイネージ

● 今月の選礼品人気ランキング

1位	2位	3位
黒豚の卵50個入り (Mサイズ)	黒豚のナゲット480g 3袋セット	【A4～A5ランクのみ】黒豚生ヒレステーキ300g (100g×3枚)
水野産黒豚は黒豚（ネー）の飼育量日本一！黒豚の卵は生食せずが良く、深いコクの中にはのびやかな自然の旨みを感じます。卵かけご飯がサイコーです！産卵所にびりヒーターの方が多く採れ、スーパーなどで大人気です！家で、自然の黒豚産卵で卵を採り取りに産卵されたら、ご当地自産卵の卵で黒豚として産卵されており、個人のお客様だけでなく魚の産卵にも選ばれている卵です。	【2年連続中島村ふるさと納税申込件数上位】水野産黒豚は、世界的にも評価の高い、国内産用種の黒豚です。そのナゲットは中島のチキンナゲットよりも薄く味が濃厚でほぐしても美味しく、鶏を混ぜて使っているため、皮も入っただけでコリコリ食感も楽しめます。お弁当にも、お弁当にもおすすめです。ぜひご利用ください。	黒豚には豊富な脂肪を持ち、柔らかい肉質は「年内の保存」と呼ばれています。あなたがいま愛用している黒豚は自然に熟成させて育てられたため、色鮮やかで味が豊かな肉味になっています。そして、今回ご利用するものが、1頭の中からわずかにしかとることができない高級部位「ヒレ」です。キレが強く、柔らかく、脂肪が少ないのが特徴です。脂が落ちる方も安心してステーキの調理をお楽しみください。

中島村ホームページふるさと納税ページ



村ホームページ

その4

## 健全な財政の維持

実質公債費率について18%を超えないことを念頭に財政運営を行い、財政の健全化に努めます。

また、納税者が納税しやすい体制整備やふるさと納税の拡充を図り、自主財源の確保を目指します。

# 04 安全・安心して暮らせるむら



## 中島村消防団

～村民の安全・安心と地域のつながりを守る～

中島村には2分団10部と役場タンク車隊から成る消防団があり、18歳以上の男性約180名が所属しています。

2019年東日本台風（台風19号）では代畑地区にて内水氾濫が発生し、消防団は水害を最小限に抑えるため夜を徹して排水作業を行いました。また2011年の東日本大震災以降頻発する強い地震が発生した際は、消防団が地域の被害状況の見回りを行いました。

「今は災害がいつ起きてもおかしくない時代。有事を想定してポンプ操法大会や火災防御訓練を行い、消防団活動を迅速に行えるように備えています」とある地区の部長が力強く話します。

一方、消防団員数が年々減少しているという課題もあります。「若い人には消防団＝堅いというイメージがあると思いますが、みんな仲が良く和気あいあいとしています。消防団には地域を守るという使命がありますが、もっと気楽に入れる雰囲気を作りたいですね。また、入団すると地域の人とのつながりもできます。何事も他人事と考えがちな世の中ですが、中島村の安全・安心、そして地域のつながりを守るため、ぜひ消防団に入団していただきたいですね。」



村ホームページ





## 全村一斉クリーンアップ事業

～自分たちの手で村をきれいに保つ～



村では毎年4月上旬に「全村一斉クリーンアップ事業」が行われています。この事業は各行政区・村内企業等の協力のもと、道路沿いや河川敷、公共施設周辺に捨てられたゴミを拾う環境美化活動です。早朝からの活動にもかかわらず、毎年小さなお子さんからシニアの方まで多くの皆さんに協力していただき、きれいな村を保っています。

しかし、毎年この事業を実施していても、小さなゴミから粗大ごみまで捨てられているのが現状です。「ゴミを拾う」ではなく「ゴミを捨てない」を地域の常識にしていくため、まずはゴミ拾いで環境に対する意識を持ってもらい、「きれいな中島村」を目指していきます。

## 童里夢公園なかじま

～いつまでも村民の憩いの場で～



村ホームページ

村の中央に位置する「童里夢公園なかじま」は1997年に開園した広さ約20ha、2つの大きな池を囲むように造られた公園です。園内には、祖父が中島村出身という縁から音楽家小室哲哉氏から寄贈いただいたカラクリ「ヨカッペ時計」、噴水から湧く水が新池に向かって流れる「水の広場」とそこから「バーベキュー広場」までつながる遊歩道沿いに桜が並ぶ「桜の道」、防災拠点となる「コミュニティセンター」、お子さんが遊べる遊具が備わっている「ちびっこ広場」と「わんぱく広場」、木々を眺めながら散歩をすることが出来る「こもれび広場」、「野鳥の森」などがあり、みんなが楽しめる公園となっています。公園には村内外から多くの家族連れや散歩を楽しむ方が訪れるほか、幼稚園の遠足でも利用されています。子ども（童）たちが夢を見る里として、これまでもこれからも多くの方を迎えます。



## その1

### 道路の整備

幹線道路や村道の整備・改善を図り、快適な通行を促します。また、通学路安全点検をもとに関係機関と連携しながら、より安全な通学方法と通学路の整備を検討します。



県道棚倉矢吹線バイパス川原田工区



福島県県南建設事務所、白河警察署、中島駐在所、村交通安全協会、村内各小学校、村住民生活課、村建設課、村教育委員会による通学路安全点検

## その2

### 童里夢公園なかじまの整備・活用

来園者に居心地よく安全に利用してもらうために、計画的な遊具等の修繕・改修を行います。



童里夢公園なかじま ちびっこ広場

## その3

### 環境への取り組み

環境問題に対応するため、リサイクルや正しいゴミの分別について周知を図ります。また、生垣整備への補助や出生・新築の村民へ記念樹を交付し緑化事業を推進します。



童里夢公園なかじまの生垣

## その4

### 移住・定住の促進

移住・定住に係るパンフレットなどを作成して村の情報を発信し、村への移住を促進します。

また、空き家情報を管理し、有効活用できる体制を構築します。さらに、分譲地販売を進めます。



原山分譲地

# 06 地域の活力を活かしたむら



## 園芸農家の鈴木さん ～花を見て「きれい」と思う文化を守りたい～

自ら手づくりした13棟のハウスで、一年を通して花壇苗と鉢花を栽培している鈴木和宏さん。勤めを辞めて1996年に就農し、現在は奥様、息子さん、パートさんと年間約30万鉢を生産しています。「野菜や米と違い、花だと一年中栽培できる。自分は365日毎日働きたいので、花を作ることにしました」と笑います。

出荷先は9割が関東、1割が福島県内の市場だそうです。「農業の作物には自分の取り組みがすべて現れます。市場で良い評価をいただき、スタッフみんなで喜びを分かち合うのが何よりうれしいですね」。

近年は地球温暖化の影響で暑さや新たな害虫、病

気への対策が必要となっており、育苗ハウスの屋根に自身でスプリンクラーを取り付けるなどの工夫をしているといいます。「農業を始めて27年目になりますが、毎年1年生だなと感じます。今までのデータやノウハウを生かしていても新しい壁が現れてくるので、常に勉強やチャレンジをしています。でも、それが楽しくもあるんです」と鈴木さん。壁を乗り越えた経験もすべてデータとして蓄積し、自分の後に続く人たちがより高いレベルで生産できるようにしたいと話します。「これからも花を作り続け、花を見て『きれいだな』と思う文化を守る一助になりたいですね」。



その1

## 農業の支援・振興

関係機関と連携した農業相談体制を充実させ、後継者・新規就農者の育成・確保を図ります。また、農地の効率的かつ安定的な農業経営を図るため、増加傾向にある耕作放棄地の発生を抑制し、農地の集約を目指します。



秋の田んぼの風景

その2

## 商業の支援

魅力ある商店づくりを促進するため、商工会などへの支援を行います。

また、地域活性化を目的とした大型イベントを開催し、村外からの集客や村のPRを推進します。



なかじま輝ら×2秋まつり

その3

## 観光基盤の整備

既存の観光資源の活用と新たな観光地の発掘を進めるほか、特産品開発などを行い、県内外に中島村をPRし誘客を図るため、積極的に各種イベントで村の魅力発信を行います。



童里夢公園なかじま(ヨカッペ時計)



首都圏でのPR活動

# 中島村 MAP



村の重要文化財「汗かき地蔵」がモチーフとなっています。頭には村の花「サツキ」と特産品の「トマト」、ヨカッペ時計をつけています。





### ① 中島村役場

庁舎は1963年に建築してから2002年、2023年に増築し現在の形となりました。庁舎内はバリアフリーやプライバシーなどに配慮し、清潔感のある造りとなっています。

中島村大字滑津字中島西11-1



### ② 中島村生涯学習センター輝ら里

図書室やアリーナ、和室、調理室などを備えた複合施設です。村民の生涯学習活動などで利用されており、村民文化祭などを開催しています。

中島村大字滑津字二ツ山28-10



### ③ 中島村総合福祉センターふれあいの郷

温泉やサウナ室のほか、集会所や娯楽室を完備しています。村内外どなたでも利用することができる村唯一の入浴施設です。

中島村大字滑津字二ツ山65-3



### ④ 中島村保健センター

村民の健康相談、健康診断などを受けられる、健康づくりの拠点となる施設です。総合検診、乳幼児健診、栄養教室、生活習慣病予防教室、各種相談会などを実施しています。

中島村大字滑津字二ツ山65-3



### ⑤ 中島村健康づくり交流センター輝らフィット

様々な筋力・体力器具が設置されているトレーニングスペースやスタジオ、多目的スペースを完備しており、村内外の方が利用できます。

中島村大字滑津字二ツ山65-3



### ⑥ 中島村農村環境改善センター

体育センター、多目的グラウンドを備えており、スポーツ少年団の利用や各種スポーツ大会が開催されています。

中島村大字滑津字二ツ山75



### ⑦ 中島村児童館輝らキッズ

18歳以下の全ての子どもが来館できる、遊び・生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身ともに健やかに育成する施設です。

中島村大字滑津字二ツ山32-12



### ⑧ 中島村学校給食センター輝らキッチン

2021年に完成した村内の幼稚園・小中学校の給食を作る施設です。中には見学スペースを設けており、子どもたちの食育を推進します。

中島村大字滑津字中ツ島11-1

## ⑨ 童里夢公園なかじま



1997年に開園した童里夢公園なかじまは、大型複合遊具、バーベキュー広場、水の広場、森の遊歩道などが整備されており、自然に囲まれた約20ha、東京ドーム約4.5個分の広大な公園です。園内には、祖父が中島村出身という縁から音楽家小室哲哉氏に寄贈いただいたカラクリ「ヨカッペ時計」があり、来園者の心を癒しています。老若男女多くの方が村内外から訪れています。

中島村大字滑津字中ツ島33-1



#### ヨカッペ時計

毎日定刻になると、カラクリ時計が動き出します。  
※荒天時は動きません。



#### 桜の道

水の広場からBBQ広場まで(約200m)の遊歩道沿いに桜が立ち並んでいます。



#### BBQ広場

2023年にリニューアルし快適にご利用いただけます。事前申込で村内外どなたでも利用可能です。



#### わんぱく広場



#### ちびっこ広場



#### 水の広場



#### コミュニティセンター



#### 清水橋・野鳥の森

# 中島村の史跡



## 奥州汗かき地藏尊

中島村指定重要文化財第1号の「汗かき地藏」は、昔から何か事変が起こりそうになると、汗をかいて人々に知らせると言い伝えられている地藏菩薩像です。高さは約2mの堂々とした石像。1335年（建武2年）に建てられたと彫刻されています。

所在地：中島村大字滑津字御城102



中島村ホームページ

## かわた 川田神社の狛犬

中島村大字川原田地区にある川田神社の狛犬は、「東北のミケランジェロ」こと福島県出身の彫刻家小松寅吉氏が自身で奉納したとされています。まるで空を駆けているような姿や尾も突き刺すように流れており勇ましい姿から、「飛狛」と呼ばれています。

所在地：中島村大字川原田字上町31



ふくしま県南観光推進  
協議会ホームページ



中島村ホームページ

## よほだ 四穂田古墳出土品「三角板鋌止短甲」

「三角板鋌止短甲」は、2011年に東日本大震災の復旧工事として共同墓地を工事していた際に副葬品と共に出土しました。この短甲は古墳時代中期に登場した新式短甲の一つで大和を中心に分布し、大和政権から権力を示す武具として与えられたものと考えられています。これまでの出土例は関東地方までに限られており、本例は東北地方で初めての出土となり、かつての豪族が本村付近に存在していたことを示す貴重な資料となっています。

所在地：出土場所・・・四穂田古墳（中島村大字吉岡字四穂田）

レプリカ展示・・・中島村生涯学習センター輝ら里

（中島村大字滑津字二ツ山28-10 TEL0248-52-2503）

出土品保管・・・福島県立博物館

（福島県会津若松市城東町1-25 TEL0242-28-6000）

## たかのず 名勝「鷹ノ図」

中島村の東部を流れる阿武隈川が松崎地区で大きく湾曲するところの対岸に約十数メートルの岸壁があり、そこに白亜で描いたような飛鷹の画をみることができます。

「水清き 阿武隈川の 流れをも とどめてもみん 鷹ノ図の山」と江戸時代に寛政の改革を行った第3代白河藩主松平定信公が詠んだとされています。

所在地：中島村大字松崎字鷹ノ図



# 中島村の特産品



## 県内トップクラスの生産量「中島村の野菜」

中島村の面積の約半分が農用地となっており、農産物の生産量は福島県内トップクラス。なかでもトマト・キュウリ・ブロッコリーの生産量が多く、特産品となっています。ほかにもナス、チンゲンサイ、じゃがいも、かぼちゃなどの栽培も盛んです。

## 県南地方の米どころ

標高差約60mと高低差が少ない平らな土地を活かし、稲作が栄えています。特に川原田地区から元村地区にかけては1964年からの県営圃場整備事業により一面田んぼが広がっており、効率的かつ良質な米の生産が盛んです。



## 緑化木の里なかじま

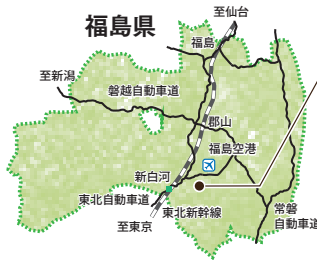
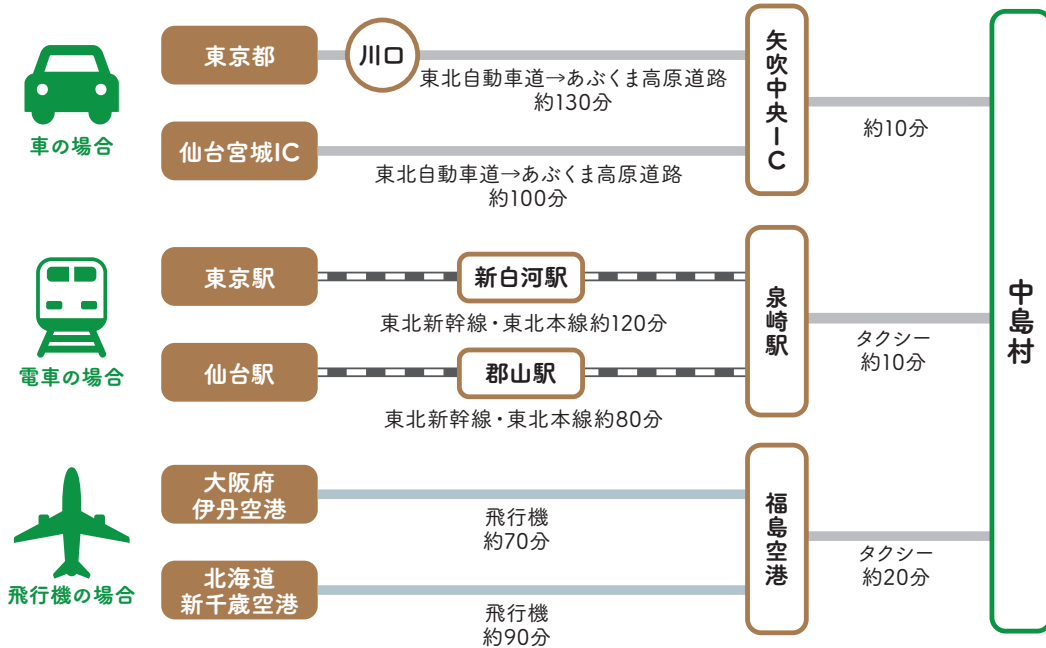
明治時代から苗木の生産が盛んで、生産技術が公害に強い緑化木として現在に受け継がれており、「緑化木の里」として知られています。庭木から花木まで多種多様な苗木が生産されています。

## 福島県を代表する良質な花き

中島村には鉢花の園芸農家が多く、シクラメンやマリゴールド、パンジーなどが生産されています。冬に行われる福島県鉢花品評会では村から複数人入賞するなど福島県を代表する良質な花き生産地となっており、全国に出荷されています。



## 中島村への交通アクセス



西白河郡  
中島村



## 中島村の概要

### 中島村の村章



中島村の「中」の字を現代的に図案化したもので、左右対称の形を中央で結び村民の融和を示しています。また、中心の線は発展を力強く表現しています。  
(1971年制定)

### 中島村のシンボル



村の木  
『赤松』

赤松はいつまでも変わらないぬ松の葉の緑、そしてたくましい幹、寒風に耐えながらも調和した美しさを表します。清楚の中にも質実剛健を心とする村民の心意気に通じるとして、村の木に「赤松」を選びました。



村の花  
『サツキ』

サツキは花びらがそれぞれの色彩を放って全体的な美しさを表しています。一人ひとりが持つ良さを集め、村民全体の良さにつながるとして、村の花に「サツキ」を選びました。

## 福島県中島村 村勢要覧 2024

発行: 中島村 2024年4月1日  
〒961-0192 福島県西白河郡中島村大字滑津字中島西11-1  
TEL 0248-52-2111 FAX 0248-52-2170  
URL <https://www.vill-nakajima.jp/>



Webサイト



公式X



公式YouTube



ふるさと納税